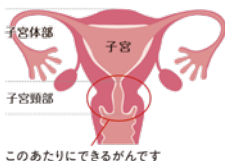


子宮頸がんって？

ウイルス感染が原因のがんです

ありふれたヒトパピローマウイルス (HPV) が持続的に感染することで、前がん病変を生じた後に、数年～十数年以上をかけ、進行した子宮頸がんに至ります。だから30代で増えてくる怖い病気なんです。



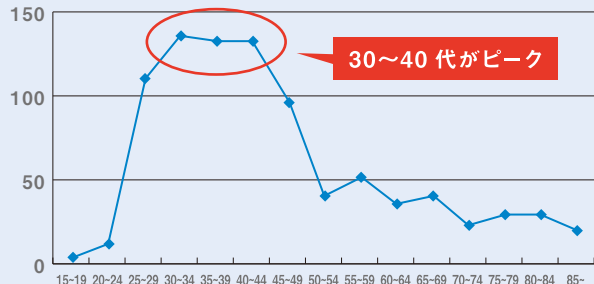
このあたりにできるがんです



このがんは初期段階では症状が現れないことが多く、定期的な検診が重要です。定期的に検診を受けると、子宮頸がん死亡率と浸潤がん罹患率が減少します。

山口県の子宮頸がんの罹患率 (令和2年) ※ (上皮内がん含む)

人口10万対



※出典：山口県がんサバイランスセンター「山口県がん登録 罹患集計」令和2年

山口県の妊娠、出産、子育てする年代に多いね

がんの発見が遅くなると、治療で子宮を失い、妊娠ができなくなってしまう場合もあるんだって

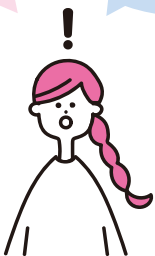
山口県の女性
【平均】
初婚年齢 **28.8** 歳

山口県の第一子
【平均】
出産年齢 **29.8** 歳

※出典：「人口動態統計」令和5年

山口県の1年間の罹患患者数
(上皮内がん除く) **139** 人
(令和2年)

山口県の1年間の死亡者数 **38** 人
(令和5年)



職域検診、人間ドック、妊婦健診などでがん検診を受診する機会のないみなさんへ

がん検診に関する市町お問い合わせ先

市町名	部署名等	電話番号
下関市	健康推進課	083-231-1935
宇部市	健康増進課	0836-31-1777
山口市	健康増進課	083-921-2666
萩市	健康増進課	0838-26-0500
防府市	健康増進課	0835-24-2161
下松市	健康増進課	0833-41-1234
岩国市	健康推進課	0827-24-3751
光市	健康増進課	0833-74-3007
長門市	健康増進課	0837-23-1133
柳井市	健康増進課	0820-23-1190
美祢市	健康増進課	0837-53-0304
周南市	健康づくり推進課	0834-22-8553
山陽小野田市	健康増進課	0836-71-1814
周防大島町	健康増進課	0820-73-5504
和木町	保健相談センター	0827-52-7290
上関町	保健福祉課	0820-62-0324
田布施町	保健センター	0820-52-4999
平生町	保健センター	0820-56-7141
阿武町	健康福祉課	08388-2-3113

発行 令和7年7月

制作 山口県健康福祉部医療政策課

TEL:083-933-2961 FAX:083-933-2829

やまぐち 3070 運動

30代女性の受診率 70%以上を目指す

子宮頸がんは
「検診習慣がない」ことが
最大のリスク。

身に付けよう

若いうちから

検診受診の習慣化

～子宮頸がんをなくす未来～



©山口県

山口県

監修：山口県医師会・山口県産婦人科医会

01

子宮頸がんは 「検診習慣がない」ことが 最大のリスクです

不正出血などの症状で受診——

実は、進行した子宮頸がんでした。

「まさか自分が…」そう思った女性は、少なくありません。

- 仕事が忙しい
- 子育てが忙しい
- 自分の事は後回し
- 検診の大切さって、知らなかった
- 検診受けてれば…

□ 多くは検診未受診者



山口市町子宮頸がん検診年齢階級別受診者数

山口市データ①

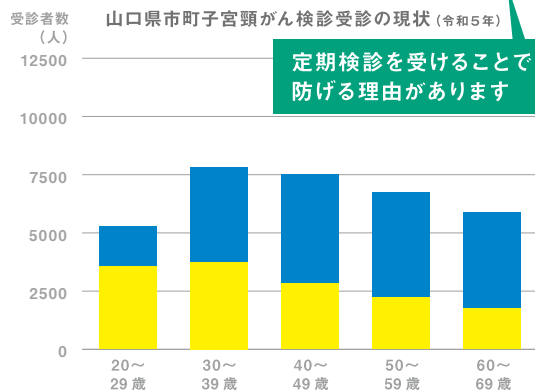
□ 初回受診者※(1)

進行した子宮頸がんになって
症状が出る前に発見できる

山口市データ②

□ 定期検診受診者

早期のがんになりうる前がん
病変の段階で発見できる※(2)



(※1) 4年以上前の検診は初回受診に含まれます。

(※2) 一部で見つかりにくい腫瘍があるので、不正出血等の症状があれば医療機関をすぐに受診してください。

※出典：令和5年度地域保健健康増進事業報告

02

だからこそ、
みんなでひろげよう！

やまぐち 3070 運動

30代女性の受診率 70%以上を目指す

山口市では、30代女性のおよそ2人に1人は、
子宮頸がん検診を受けているって、知っていますか？

でも、もっと多くの女性に、誰でも、若くして、かかる
子宮頸がんのリスクと定期検診で防げる理由をみんなで
伝えて、20～30代から検診習慣を身に付けて、子宮
頸がんで苦しむ女性をなくしましょう！

今からでも間に合います。

若いうちから

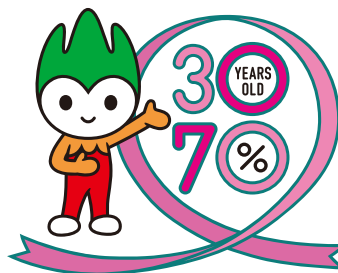
検診の習慣を。

それが未来のあなたを守ります。

□ 3070運動 その①
まずは、初回検診を
早めに受けましょう

早期発見
チャンス！

(目標)
30代女性の
検診受診率
70%以上



「やまぐち 3070 運動」の推進

県では、運動の一環として、やまぐち 3070・ピンクリボン
キャンペーンで検診の啓発活動に取り組んでいます。
ぜひとも、まわりの大切な女性に伝えてください。



□ 検診習慣を身に付けたみなさんへのお願い

健康な日常生活が続くよう、家族でお互いに、がん検診対象年齢
(乳・大腸・肺・胃) になったら、がん検診の声掛けもしましょう。

03

みんなの検診習慣が
子宮頸がんをなくす未来へ



子宮頸がん撲滅の WHO 目標

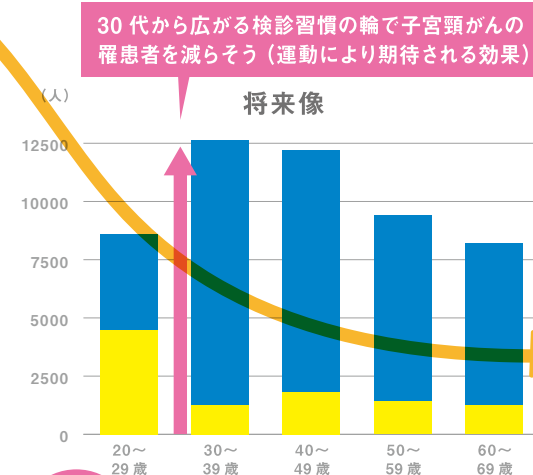
① HPV ワクチン接種率：90%

② 子宮頸がん検診受診率：70%



私たち妊婦も、
母子の健康のため
みんな受けてます！

社会全体で「やまぐち 3070 運動」に取り組む 将来の子宮頸がん検診受診状況 (イメージ)



前がん
病変で発見
してがん予防
できる！

□ 3070運動 その②
その後は、2年毎の定期検診を続けましょう